

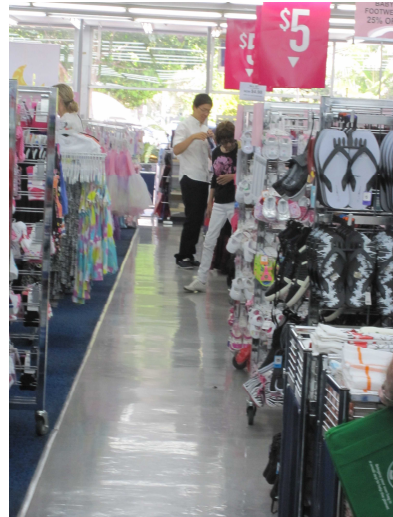
山梨英和大学におけるインターンシップの取組事例

- 授業科目名:海外インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等:SPOTLIGHT(小売) ●実習場所:オーストラリア
- 参加対象者:2~4年生
- 実習期間:8月~9月 ●実習日数:5週間

<取組の概要>

産業界では、市場を海外に求めている状況であり、山梨県内の地場産業界も同様である。そのため、本学に対しても、新たな事にチャレンジ出来る、論理性・柔軟性のあるグローバル人材育成が求められている。

授業を通し、総合的な学習経験と創造的思考力を育成することを目的としている。



ショップでの研修

<取組の具体的な内容>

スケジュール

- 1) オリエンテーション・オーストラリアの文化について(5月)
- 2) インターンシップ(企業研究・ビジネスマナー)について(5~6月)
- 3) 大学での事前英語学習(8月下旬:山梨英和大学での英語研修)
- 4) 現地語学研修及びインターンシップ実習(現地2週間程)

実習内容:・お客様への対応・布生地、糸、リボン、ボタン、針、ゴム、雑貨などの整理整頓・お客様が持ってきた生地、リボン、ゴムを希望の長さに切った後のものを元の場所に戻す・スキャナーを使って商品の分類分け・布の裁断

5) レポート作成(10月)

6) 報告会(11月)

授業のねらい

- 海外で働く経験を通し、働くことの実際や国際性を理解する。
- 職種への理解を深め、自分の適性を理解する。
- 現地での社会体験を通じて、異文化への相互理解を深める。
- 自分の就職意識をより堅固なものにする。
- 企業の調べ方や問題解決技法、ビジネスマナー等のスキルを身につける。

創価大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名 : International Internship A (4単位)
- 実習先企業等 : BERJAYA TIMES SQUARE HOTEL
- 実習場所 : マレーシア・クアラルンプール
- 参加対象者 : 経済学部全学年
- 実習期間 : 2月～3月
- 実習日数 : 約4週間

<取組の概要>

産業界のニーズに対応した人材を育成する目的で、学部独自で、国内外におけるインターンシップの取組みを実施している。幅広い分野の国際社会で活躍できる人材を育成するために、学部教育と連動して、海外で英語力を生かした就業体験ができるプログラムを実施している。



<取組の具体的な内容>

＝出発前＝

- ・「働くこと」の意義、「異文化」における対応について学習
- ・グループにて「課題発見」「課題解決」のワークを実施
- ・自身の目標の設定
- ・ビジネス英語の学習

＝現地にて＝

- ・ビジネス英語やビジネスマナーを英語で学習(2週間)
- ・インターンシップ実施(2週間)フロント・バックヤード業務を体験
- ・自身の目標に沿った課題に挑戦
- ・インターンシップ先の担当者に評価表を記入してもらう

＝帰国後＝

- ・自身の体験レポートを英語で提出
- ・自身の成果を学部における「インターンシップ報告会」にて発表
- ・すべての課程を修了した参加者に修了証を授与(単位認定)

亜細亜大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: 海外ビジネスインターンシップ(4単位)
- 実習先企業等: 大連三島食品
- 実習場所: 中国遼寧省大連市
- 参加対象者: 全学部「アジア夢カレッジ」2年生(必修)
- 実習期間: 12月～1月 ● 実習日数: 5週間

<取組の概要>

現地企業にて現地の従業員と協働体験をすることを通して、当該社会の言語・民族・社会についての生きた理解の上に、企業社会への認識と職業観を確立し、職業能力、責任意識と相互強調の価値観を涵養するとともに、将来の進路、自己の適正について考え専門教育への更なる動機づけを促す。

設置から10年目を迎える取り組みであり、現地政府や受入企業等との相互協力により、高い教育成果を積み上げてきた。これまでの受入現地企業等は、伊藤忠、大連中国国際旅行社、富士電機、日本国駐瀋陽総領事館ほか25社(機関)を超える。



<取組の具体的な内容>

派遣先企業によりその実習内容は異なるが、5週間をかけて現地社員とともに社員寮に住み込むケースが多く、24時間、主に中国語を用いて、周囲とのコミュニケーションを図りながら就労体験をする。海外での5週間という長期の就労体験を通して、学生は、日本と中国の企業文化の違いを身をもって体験し、現地の人々の価値観や、働くとはどういうことかを学び、自身の行動特性や長所・短所についても気づきを得ることを目指している。

(食品会社での実習)

学生は全部署の業務を一通り体験する。製造部門では実際に工場で現地社員とともに材料仕分け等を体験し、営業部門では現地社員の営業活動に同行して、その交渉やセールス方法も学ぶ。また、5週間の実習中に企業側から研究・調査テーマ(市場調査等)が与えられ、これについても取組み、報告書にまとめたうえで社長に報告する。

亜細亜大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名:多文化インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等:Globetronics(電子・電気機械メーカー)
- 実習場所:マレーシア
- 参加対象者:国際関係学部 多文化コミュニケーション学科3・4年生
(本年度は3年生のみ参加)
- 実習期間:8月～9月 ●実習日数:4週間(マレーシアの場合)

<取組の概要>

国内での週1回(合計15回)の事前学習(自己分析、就労のためのスキル、現地事情、海外危機管理等)を経て、外国の企業または国内の対外部門でおよそ2～4週間の職業体験を行い、最終的には、就業日誌、自己評価レポートを提出し、報告会でのプレゼンテーションを行う。

※今年度は、すべて海外において実施した。



マレーシアでのインターンシップ成果発表会。
4人の学生が発表した。
(マレーシア・ペナン州・バヤンレパスにて)

<取組の具体的な内容>

夏季休暇中に4週間のインターンシップを実施している。

【Globetronics(マレーシア/電子・電気機械メーカー)での実習】

現地理解の一環として、企業担当者より、マレーシアの歴史・文化・言語等についてのレクチャーを受け、その後、中国語書類の翻訳や、データの入力補助、書類作成およびチェック作業等の業務を体験する。このほか、社員のミーティング時に、企業側から指定されたテーマについて、英語でのプレゼンテーションも行う。

派遣学生は、日本で身に付けた語学力の実践と、日本とは異なるマレーシアの多文化社会で就労体験をすることで、現地社員の価値観や就労スタイル等を学ぶ。

芝浦工業大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名：国際インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：マレーシア日本国際工科院(MJIIT)
- 実習場所：マレーシア・クアラルンプール
- 参加対象者：工学部2年生以上
- 実習期間：8月17日～8月28日
- 実習日数：11日間

<取組の概要>

本実習は、国際的な技術者として活躍するために求められる、「情報や意見を他者に伝える能力」、「他者の発信した情報や意見を理解する能力」を海外の企業・大学における体験を通じて身に付けることを目的とする。

受講生は、事前に実習計画を立て、担当教員のチェックを受けたのち、実習に参加する。実習期間中に実習日誌を作成し、本実習にて学んだことおよび体験したことについてのレポートを帰国後に作成し提出する。また、レポートの内容の概略についてのプレゼンテーションを行う。さらに、実施前後にPROGによる能力特性評価を行う(以上、シラバスより抜粋)。

<取組の具体的な内容>

取組例：工学部機械工学科

- 本学学生13名、MJIIT学生14名による合同gPBL(Global PBL)。学生は4～5名ずつの計6班に分けられ、班ごとにプログラムに参加した。
- プログラムは午前の部9:00～13:00、午後の部14:00～17:00で、計14回。内容はオリエンテーション、自己紹介に始まり、大学施設見学、芝浦工大・MJIITそれぞれの教員によるRecent Research Talk、Special LectureおよびWater Balloon Drop Challenge/Microcomputer Device Development Challengeという2つのグループワーク(PBL)からなる。
- 引率は教員2名で前半と後半に分かれて担当(重複期間あり)。
- 履修上の条件として実習前にe-learning教材「スーパー英語」の初級コースの受講が求められる。「スーパー英語」をどのくらい受講したかについては明確に基準は設けていないが、受講時間の履歴は成績の参考とする。

昭和女子大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名:海外インターンシップ(2単位)
- 派遣地域:カナダ・ビクトリア市
- 実習場所:ロイヤルローズ大学、ビクトリア市内
- 参加対象者:TOIEC590点以上の英語力を持つ2年生
- 派遣期間:8月末～9月中旬
- 派遣日数:3週間

<取組の概要>

提携大学でのインターンシップ準備講座と最終発表を含む、市内のホテル、美術館、コンベンションセンター等での実習プログラム。観光地として有名なビクトリア市で、各国からの観光客を相手に、英語を使った実践的なホスピタリティマネジメントを学ぶことができる。



<取組の具体的な内容>

本プログラムに参加する学生は、現地大学とのインターネットでの面談を通じて、語学力やコミュニケーション力に応じて一人ずつ別々の実習先に割り振られる。実習先の多くはビクトリアの中心であるInner Harborにある一流ホテルや美術館などであり、カナダやアメリカを中心とする多くの地域からの観光客が訪れる。このため、学生はほかに日本人のいない環境の中で、現地のスタッフと協力しながらも、主体的に行動できる実践的な力が求められる。本プログラムでは提携大学の協力のもと、実習前の準備講座、毎週の振り返りなどを通じてこれらの力の育成を図り、最終週でのプレゼンで結果報告をしている。今年度の参加者は5名で宿泊はホームステイである。学生からは、英語での接客の難しさを痛感しながらも、周りのスタッフに支えられて充実した実習だったとの声が多かった。

東京都市大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ(1)(2)(各1単位)
- 実習先企業等: Langrich Holdings Pte.Ltd (学生向けオンライン英会話)
- 実習場所: フィリピン、セブ市
- 参加対象者: 全学年対象に募集し委員会で選考 (今回は6名の学生を派遣)
- 実習期間: 8月17日～9月4日
- 実習日数: 19日

<取組の概要>

海外の日系企業において英語を使用し、外国人講師に対するマネジメントを行う業務を体験。PDCAを意識した業務改善、また学生6名に業務課題を与えることにより、チームビルディングのプロセスを体験させる。



講師への
フィードバック面談
↓

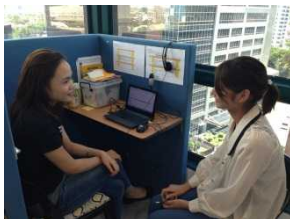


インターンシップ学生が
作成した業務管理
シート表
↓



↑
最終日に現地担
当者に向けた成
果報告会を実施

↑
インターンシップ学生
と講師



↑
毎日、朝(計画
発表)夕(実績と
意見)に担当者
とミーティング



<上記インターンシップの具体的な内容>

● 学生への目標

- ①一つの仕事を完成させるプロセスを同僚と力を合わせながら実体験することで、成功体験・自信を身に着ける。
- ②英語を通じて仕事を行うことで、実用的な英語運用能力を身に着ける。

● 実施内容: オンライン英会話サービス講師の授業教授力の向上をめざした業務改善を体験する。

- ・派遣前に日本でオンライン英会話のユーザーとしてサービスを受ける。
- ・最低1講師につき、2回の授業チェック・シート作成・指摘を実施する。
- ・上記を要約した結果を報告書として納品すること。
- ・最終日に現地スタッフと大学のスタッフに対して、各学生が15分程度の個人の成果を発表する会を開催。
- ・現地スタッフからの評価票を利用して、大学スタッフにより個別振り返り面談を行う。
- ・11月19日に学内の海外インターンシップ成果報告会において、教職員・学生に向けて成果報告の発表会を行う。

<その他の本学が開拓して選考派遣した今夏の海外インターンシップ例>

- ・アメリカ: 弁護士・弁理士法律事務所におけるビジネスの課題解決【5名派遣】
- ・タイ: プリンタ、複合機の組立作業実習および作業分析実習【2名派遣】
- ・タイ: プレス機械、工作機械メーカーで工場生産管理・機械設計等の実習【2名派遣】
- ・フィリピン: 自動車部品の作業組立および工場生産管理等の実習【2名派遣】
- ・オーストラリア: 西オーストラリア州の都市開発プロジェクトの管理実習【3名派遣】 など

法政大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名：キャリア体験学習(2単位)
- 実習先企業等：日系企業(9社)
- 実習場所：中国・北京
- 参加対象者：キャリアデザイン学部 2～3年生
- 実習期間：2014年8月24日～9月6日
- 実習日数：14日間

<取組の概要>

海外で日本人を含む各国の人々のキャリアデザインを学び、その現場を実体験することにより、各国のキャリアデザインの歴史と現状、キャリアデザインの国際性・国際化を理解します。

異文化理解の一端そして、それぞれが自分のテーマを設定し、日系企業を訪問し、就業体験に取り組みます。



<取組の具体的な内容>

北京大学を提携先として、北京にある日系企業で実習を行います。

下記の企業(7社)で実習を行う前に、参加者全員で、索尼(中国)有限公司(SONY)と柒一拾壹(北京)有限公司(セブンイレブン)の2社に訪問しています。

- ・NTT DOCOMO, INC. 北京事務所
- ・全日空航空公司(全日本空輸株式会社)
- ・共同通信社(中国)
- ・東芝(中国)有限公司
- ・愛梯匹图文制作(北京)有限公司 愛提琵貿易(上海)有限公司北京分公司(略称:ITP)(日本本社名:株式会社石田大成社)
- ・永旺(中国)投資有限公司(イオン)
- ・北京世紀創通信息技術有限公司(北京久福資材貿易有限公司)

京都外国語大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名：海外インターンシップ(1～8単位)
- 実習先企業等：GRUPO TOYO
- 実習場所：メキシコ(グアダハラ)
- 参加対象者：全学科2～4年次生
- 実習期間：8月7日～9月7日
- 実習日数：27日間

<取組の概要>

外国語学部のみ単科大学として次世代を担う真の国際人育成を目指している。現地での実習となるため、語学力が必要とされる。



<取組の具体的な内容>

※実習内容は部門によって若干異なる

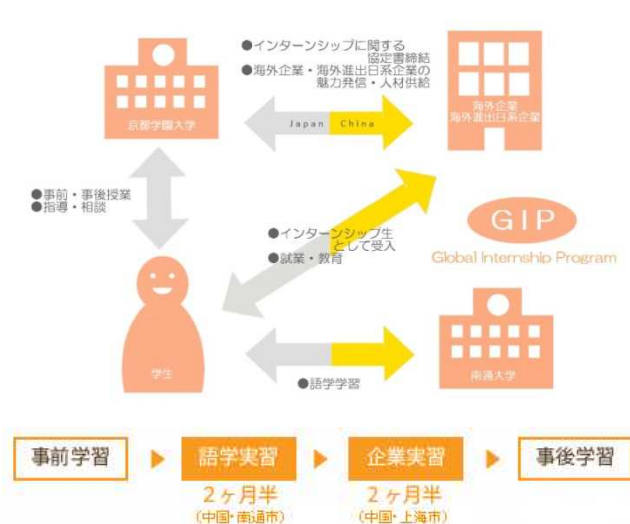
- ◆COMERCIAL TOYO(オリエンタル食品卸・小売)
販売業務、事務作業補助業務、等
- ◆PLASTICO TOYO(プラスチック製品製造・販売・輸入)
事務作業補助業務、等
- ◆SUEHIRO(高級日本食レストラン)
接客業務、等
- ◆RESTARANT TOYO(レストラン)
接客業務、等

京都学園大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名:海外企業実務(2~4単位)
- 実習先企業等:オムロン(中国)有限公司
- 実習場所:中国・上海市
- 参加対象者:経済・経営・法学部3回生
- 実習期間:6月~8月 ●実習日数:約50日(実日数)

<取組の概要>

中国での語学研修(2か月半)と企業実習(2か月半)から構成される教育プログラム。語学力の向上ならびに海外企業での実務をとおして、世界的(グローバル)な視野を持ち、社会で活躍できる人材の育成を目指す。



<取組の具体的な内容> ※実習内容は各企業によって異なる

オムロン(中国)有限公司における実習内容(2014年度):

法務部および知的財産部における翻訳や中国語での報告書作成等の業務

【1~2か月目】法務部での実習

報告書・法務関係書類の翻訳、マニュアル(法務、危機対応、製品問題対応等)の作成、インターン中間報告書の作成・社内発表

【2~3か月目】知的財産部での実習

特許請求、公証・認証等に関する書籍・文書の翻訳、インターン最終報告書の作成・社内発表

【実習期間中の学修】

○業務日報の作成(実習日ごと)

実務内容やそこで気づいたことなどをまとめ、受入担当者から指導・助言をもらう

○プログラム科目担当教員による実習企業訪問・面談(月1回1週間程度)

企業訪問・業務日報等をもとに実習状況等の確認や実習段階に応じて担当教員から指導を受ける

【実習終了後】大学で開催する実習成果報告会でそれぞれの学生が成果報告を発表する

京都産業大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ4(4単位)
- 実習先業界: 大学
- 実習場所: カナダ
- 参加対象者: 外国語学部2年生(活動時点)
- 実習期間: 8月~9月
- 実習日数: 20日間

<取組の概要>

異文化に対する理解や適応力、日本語以外でのコミュニケーション力を養うことや自分の適性をグローバルな視点でより深く知ることを目的にカナダの総合大学で大学内にとどまらず学外の企業等にも発信予定の広報物の作成等を行っている。



カナダでのインターンシップの様子

<取組の具体的な内容>

先進的なインターンシップ・プログラム(4ヶ月間の長期有給インターンシップなど)を学部専門教育と関連づけて実施しているカナダの総合大学で、英語でのコミュニケーションが主となる業務に従事する。2014年度の学生の主な業務は、より多くの学生、企業に、プログラムへ参加、協力してもらうことを目的とした広報業務であり、企業、学生、それぞれにプログラムの魅力を伝えるPRビデオの作成や企業担当者へプログラムの概要や流れ、学生・大学・企業、それぞれの責任や役割を説明するリーフレットの作成に携わり、広報業務以外にもオリエンテーションの実施サポートや、各種リサーチ及びデータ作成業務等、プログラム運営に係る業務を多岐にわたり担当し、幅広い業務を体験する。

就業体験		
	「午前」実習内容	「午後」実習内容
1日目	自己紹介・オリエンテーション	キャンパスツアー参加
2日目	Webサイトより大学についての学習	年間レポートよりCo-opについての学習
3日目	Co-opについての学習	Co-opについての学習
4日目	Co-opについての学習	Word入力(雇用者向けパンフレット)
5日目	Wordへの入力作業	Wordへの入力作業
6日目	Co-op教育の動画原稿作成	Co-op教育の動画原稿作成
7日目	Co-op教育の動画原稿作成	Co-op教育の動画原稿作成
8日目	Co-op教育の動画原稿作成	キャンパス内動画撮影
9日目	キャンパス内動画撮影	キャンパス内動画撮影
10日目	キャンパス内動画撮影	キャンパス内動画撮影
11日目	キャンパス内動画撮影	ビデオ編集
12日目	ビデオ編集	ビデオ編集
13日目	ビデオ編集	ビデオ編集
14日目	書類整理・コピー	授業補助・見学
15日目	職業観についてリサーチ	職業観についてリサーチ
16日目	祝日休校日	祝日休校日
17日目	ビデオ修正作業	ビデオ修正作業
18日目	ビデオ修正作業	ビデオ修正作業
19日目	ビデオプレゼンテーション	ビデオ編集
20日目	自主学習	自主学習

天理大学における海外インターンシップの事例

- 授業科目名: 海外インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等: ウクライナ日本文化協会
- 実習場所: ウクライナ キエフ市
- 参加対象者: 全学部全学年
- 実習期間: 6月10日(火)~21日(土) ● 実習日数: 10日

<取組の概要>

天理教の海外拠点(伝道庁、出張所、教会等)や海外企業(個人経営による自営業や非営利団体を含む)で行う就業体験や伝道実習等のプログラム(天理大学海外インターンシップ制度)である。



<取組の具体的な内容>

留学を推進している本学では、留学終了後、留学中に身につけた語学スキルの実践の場として、また、簡単な作業体験を通じ、企業について浅く広く知る機会として、天理大学海外インターンシップ制度により、現地で職場体験型のインターンシップを行っている。

ウクライナにおける日本語教育や日本とウクライナの文化芸術交流の促進および日本・ウクライナに関する情報発信を業務としているウクライナ日本文化協会において、イベントオーガナイズの補助や図書室運営管理補助などの実習を行った。

また事後研修として、100名ほどの学生・教職員を前に報告会を行った。

大阪府立大学における海外インターンシップの事例

- 科目名:教育福祉インターンシップB(イリノイ・スタディツアー)
- 実習先企業等:
イリノイ大学シカゴ校、シカゴ市内の社会福祉施設、学校等
- 実習場所:アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ
- 参加対象者:大学院生5名(人間社会学研究科)
3回生2名(教育福祉学類)、2回生4名(教育福祉学類)計11名
- 実習期間:2014年9月16日～9月23日 ●実習日数:6日間
- 単位認定の有無:2単位

<取組の概要>

社会福祉における現場での体験や学びが学生の就業力の育成につながる。福祉・教育に関して先進的な取組をしている海外地域の大学を訪問し、学術交流を行い、施設訪問などを行う。

*オリエンテーションを行う。訪問先の地域や機関について事前学習に取り組む。実習後は事後学習に取り組み、報告書作成、成果発表を行う。



<取組の具体的な内容>

イリノイにおけるスクールソーシャルワークに関して、イリノイ大学教員の講演、現地施設や学校等を訪問しての実地見学、現場でのヒアリング調査などを通して、幅広い知識、視野の獲得に努めた。また、イリノイ大の教員や学生との交流、意見交換、議論を通じ、異文化に対する柔軟で多角的な思考を身に付けることができた。

大阪府立大学における海外インターンシップの事例

- 科目名:教育福祉インターンシップB (カンボジア・スタディツアー)
- 実習先企業等:カンボジア王立プノンペン大学、
JICAカンボジア事務所、現地の病院、小学校等
- 実習場所:カンボジア王国プノンペン,コンポンスプー,シェムリアップ
- 参加対象者:3回生5名(教育福祉学類2名、看護学類3名)、
2回生1名(看護学類)、1回生2名(教育福祉学類) 計8名
- 実習期間:2014年9月14日～9月22日 ●実習日数:8日間
- 単位認定の有無:2単位

<取組の概要>

社会福祉における現場での体験や学びが学生の就業力の育成につながる。福祉・教育に関して先進的な取組をしている海外地域の大学を訪問し、学術交流を行い、施設訪問などを行う。

*オリエンテーションを行う。訪問先の地域や機関について事前学習に取り組む。事後学習に取り組み、報告書作成、成果発表を行う。



<取組の具体的な内容>

王立プノンペン大学の研究者、学生との交流を行うと共に、医療機関や施設の視察を通して現地の保健、福祉の現状を学んだ。また、キングフィールドやトゥールスレン博物館の見学を通して悲惨な内戦を経験したカンボジアの歴史と文化を知ることができた。スラム街やマーケット、一般民家の訪問では異文化理解を深めた。